

北！ 白晝公然と妨害し、一方附添ひの應援団を片パスから検束し、一方泣き叫ぶ女工諸君を強制的に十数合の貨物自動車に引づり込み、工場へどんと引上ひて行つた。

労働争議に對し警官が常道を逸した兇暴を敢へて存すことは、我々は今日まで嫌と云ふ程見せつけられてゐる。しかも今日まで大阪府警察部の務めた今日の挙動の如く、白晝公然と、資本家の手先となつて、おとなく引上げる女工を貨物自動車を以て動物扱ひに、会社へ引づり返すと云ふが如き露骨なる御用機関ぶりを發揮したことは曾て見たことがない。大阪の警察は、東洋紡績会社の明かな御用機関として、公衆の面前に其の正体を現はしたものである。呸！
この民衆の公敵！

総同盟諸君の奮起を切望する。

本議會紡織労働の幹部はこの引上げと同時にこの事を総同盟側に報告し、今後の

対策について協議を求めた。然るに、後程何等かの回答を下さると答へられたりであり、

對陣と、衝突と、組織は、今また混乱の渦中にある。しかも會社の無誠意と、官憲、暴力団の血迷へる暴行とによつて、今や更にこの争議は危機にのぞんでゐる。我々は最初から協同戦線を張つてこの争議を巻き起した。苦闘せる我等の兄弟のため、総同盟、評議會兩大組合の無條件の協同戦線こそこの難関を突破する唯一の道である。総同盟諸君の全幅の奮闘を切望しつゝ、こゝに我等の努力を誓ふ。

大正十五年八月十四日午後五時

日本労働組合評議會

大阪紡織染物労働組合

三軒家紡績争議団